

電通育英会主催「リーダー育英塾第6期募集」ご案内
—全国の高校大学の教職員と一緒にスクールリーダーを目指しませんか?—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

公益財団法人電通育英会主催「第6期リーダー育英塾」募集のご案内

詳細&申込は、以下のURLをご覧ください（申込〆切4/21日）

https://www.dentsu-ikueikai.or.jp/transmission/about_ikueizyuku/

- 2024年 8/10（土）～12（月）
- 会場：L stay&grow南砂町（東京都）（合宿形式）
- 目的：高等学校・大学で推進していく「次世代リーダー」育成
- 参加資格：主に高校、大学教職員（短大、高専等も含む）
- 定員30名
- 参加費・宿泊費、食事（無料）

※ただし現地までの交通費は各自で負担



大学生研究フォーラムからリーダー育英塾へ

- 2008年（第1回） 大学生の教育とキャリア形成の在り方を探る
- 2009年（第2回） 大学生の何が成長しているのか、その中身を考
える
- 2010年（第3回） 大学での勉強を、学生の成長につなげる
- 2011年（第4回） 現代大学生の学びとキャリアをデータと実践を
架橋して理解する
- 2012年（第5回） グローバルキャリアの時代に大学教育は何がで
きるか
- 2013年（第6回） 学生のうちに経験させたいことー大学生の今、
変わる企業
- 2014年（第7回） 活力ある日本の若者教育を目指して
- 2015年（第8回） 大学教育に必要なのは「プロジェクト」か「プ
ロジェクト学習」か
- 2016年（第9回） 経験で終わるな、メタに上がれ！ーわたしのメ
タラーニング宣言ー
- 2017年（第10回） 10年目を迎えた大学生研究フォーラム --
10yearsリフレクションー
「学校から仕事・社会へのトランジション」へとシフト

「リーダー育英塾」の開催 Since 2018~



「大学生のキャリア意識調査」もこの電通育英会プロジェクトの一環でなされているものです

No245



電通育英会主催『大学生のキャリア意識調査2022』報告書(2023年12月)より

現代大学生の学習、就職キャリア意識、余暇との関連など

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

大学生白書2018

いまの大学教育では学生を変えられない

溝上慎一

東信堂

溝上慎一 (2018).
大学生白書2018—いま
の大学教育では学生を
変えられない—

東信堂



『IKUEI NEWS』
Vol.104
(2023年10月)



教育改革を進める
次世代リーダー育成の場

第5期 **リーダー**
育英塾
2023

監修



学校法人桐蔭学園 理事長 /
桐蔭横浜大学 教授
満上 慎一



立教大学
経営学部 教授
中原 淳

ファシリテーター



立教大学 専任教授
田中 聡



桐蔭横浜大学 教授
武田 佳子



東京学芸大学 専任教授
伊藤 洋子



立教大学 教職大学院 講師
谷内 大祐



東京大学 専任
池田 めぐみ



中央大学 経営教授
渡川 幸加

リーダー育英塾とは？

高校・大学の教職員を対象として、2泊3日で開催される少人数制の研修プログラム。参加者たちが個々の教育現場で抱える課題と各自で考案した解決方法を持ち寄り、グループワークや講師からのアドバイスを通して内容をブラッシュアップし、最終日にポスター発表を行います。リーダー育英塾が大切にすることは、発表した内容を各現場に持ち帰って「実行すること」、そして、その行動を支え合い、高い志を共有する「仲間を作ること」です。教育現場の未来を変える本気の取り組みが始まっています。

第5期 **リーダー育英塾**
Report

8月12日(土)～14日(月)に行われた第5期「リーダー育英塾」。多数の応募の中から事前課題を突破した38名が第5期生として、L stay & grow 雨砂町(東京都)で2泊3日の合宿に挑みました。



8/12 Sat
1st DAY

■財団挨拶

今年のリーダー育英塾は、電通育英会・中本 新一理事長(左)と有井和久専務理事(右)の挨拶で始まりました。



■トランジション・レクチャー



「中間層人材を育成するノート作りの教育実践—経験学習を踏まえて—」をテーマに、海上先生による講義が行われました。大学留學等の懸念の中で中下位置を育てるための課題と、学生の学びを効果的にするノートの取り方について、相模横浜大学の取り組みを交えながら解説しました。

■外部講師による講演



登壇したのは、法政大学キャリアデザイン学部で教授を務める田中研之輔先生。テーマは「これからのキャリア開発—最先端のプロトタイプ知見から—」でした。プロトタイプとは、変化に合わせて柔軟にキャリアを変化させられる能力のこと。これからの時代のキャリア開発とその教育について、専門家の視点から詳しく解説しました。

■分科会



中原先生による「分科会の楽しみ方」についての講義の後、グループワークが行われました。参加者が個々に持ち寄った課題をグループ内で共有し、他の参加者の意見も交えながら掘り下げていきました。

■ウェルカムパーティー



1日目の終わりにはいったん課題から離れて、参加者、講師、電通育英会スタッフを含めて、ウェルカムパーティーが開かれました。参加者は新たな仲間たちとの交流を楽しんでいるようでした。



『IKUEI NEWS』
Vol.104
(2023年10月)

8/13 Sun
2nd DAY

■フォローアップセッション



2日目は、中居先生の講義からスタートしました。テーマは「見える化と対話による学校づくり」。生成AIが社会と教育機関に及ぼす影響や課題、意識されにくい課題を「見える化」し、対話を促す必要性などが語られました。

■振り返りセッション



本セッションでは、これまでの振り返りをテーマにグループ内で対話を実践し、対話の重要性とその技法を身をもって学んでいきました。



■個人ワーク



翌日のポスターセッションに向けて、発表内容を完成させる個人ワークです。特にファシリテーターやチームからのアドバイスを頼りに、各自作業に没頭していました。

8/14 Mon
Last DAY

■ポスターセッション

最終日はいよいよポスターセッションです。各自の所属校における課題への具体的な取組の組みと、各現場に戻ってから最初に対応する行動目標である「My First Step」が提示されました。他の参加者の発表に熱心に耳を傾け、本気で意見を交わしている様子から、教育現場の明るい未来が見えるようでした。



■修了証授与

修了証の授与は、参加者同士が表彰し合う「リーダー育英塾形式」。全てのセッションに参加した37名が「リーダー育英塾」の第5期生として認定されました。



■フェアウェルパーティー

修了証授与の後は、参加者を送り出すフェアウェルパーティーがありました。別れを惜しみつつ、仲間同士で健闘を祈り合いました。



3日目にはリーダー育英塾OBOGの姿も!



最終日には、1~4期のリーダー育英塾OBOGが22名駆け付けました。ポスターセッションなどで5期生へコメントし、フェアウェルパーティーでは交流にも参加しました。リーダー育英塾のネットワークは確実に広がり続けています。

ご応募お待ちしております! (応募〆切 4/21 [日])

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。

E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

